船岡町埋蔵文化財発掘調査報告書

FUNAOKATYOU　MIZUKIOOHATA

船岡町・見槻大畑遺跡試掘調査報告書

2003・3

船岡町教育委員会

序　　文

このたび、船岡町見槻地内に、ほ場整備事業が計画されたので、早急に調査を実施し、工事計画との調整を図る必要が生じたため、試掘調査を実施することとなりました。

この付近は、平成３年度に隣の集落の西谷字牧野での発掘調査が行われた際に、遺物（土師器・須恵器などの破片）や遺構が見つかっている関係もあり、埋蔵文化財包含の可能性があるということで、鳥取県埋蔵文化財センターの指導を受けて、平成１４年８月１２日より調査を実施しました。

夏の暑い時期での作業となりましたが、作業に当たっていただいた方々の積極的な協力もあって、予定どおり実施することができ、本書に記載のような結果を得て無事終了いたしました。

この間、終始適切な指導・助言をいただいた、鳥取県教育委員会文化課及び鳥取県埋蔵文化財センターの職員の皆さん、また発掘作業にご尽力をいただいた地元集落関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

平成１５年３月

船岡町教育委員会

教育長　西　村　捷　義

例言

1）本報告書は、平成 14 年度中山間地域総合整備事業（見槻工区ほ場整備）に伴い、船岡町教育委員会が実施した、見槻大畑遺跡試掘調査報告書である。

2）遺跡の所在地は、鳥取県八頭郡船岡町大字見槻に所在する。

3）調査期間は平成 14年8月19日 から10月18日まで現地調査を実施し、以後、平成15年3月末日まで屋内で整理作業・報告書作成を行った。

4）本書で使用した方位は真北を示し、遺跡の位置については国土座標第Ⅴ系を使用した。

5）本書では、　T：トレンチ　　MO：見槻大畑　の記号を使用した。

6）本書に関する資料の全ては、船岡町教育委員会が保管・管理・活用する。

調査関係者

1）調査主体　船岡町教育委員会

2）調査団長　西村捷義（船岡町教育委員会教育長）

3）事務局　東口善一（船岡町教育委員会課長補佐）

4）調査員　松下利秀

5）作業協力　笠田八太郎
平木　卓美
田中　　勲
田中　裕幸
中田　　豊
平木　　登
見山洋太郎
笠田　照子
田中喜美恵

目　次

本　文　目　次

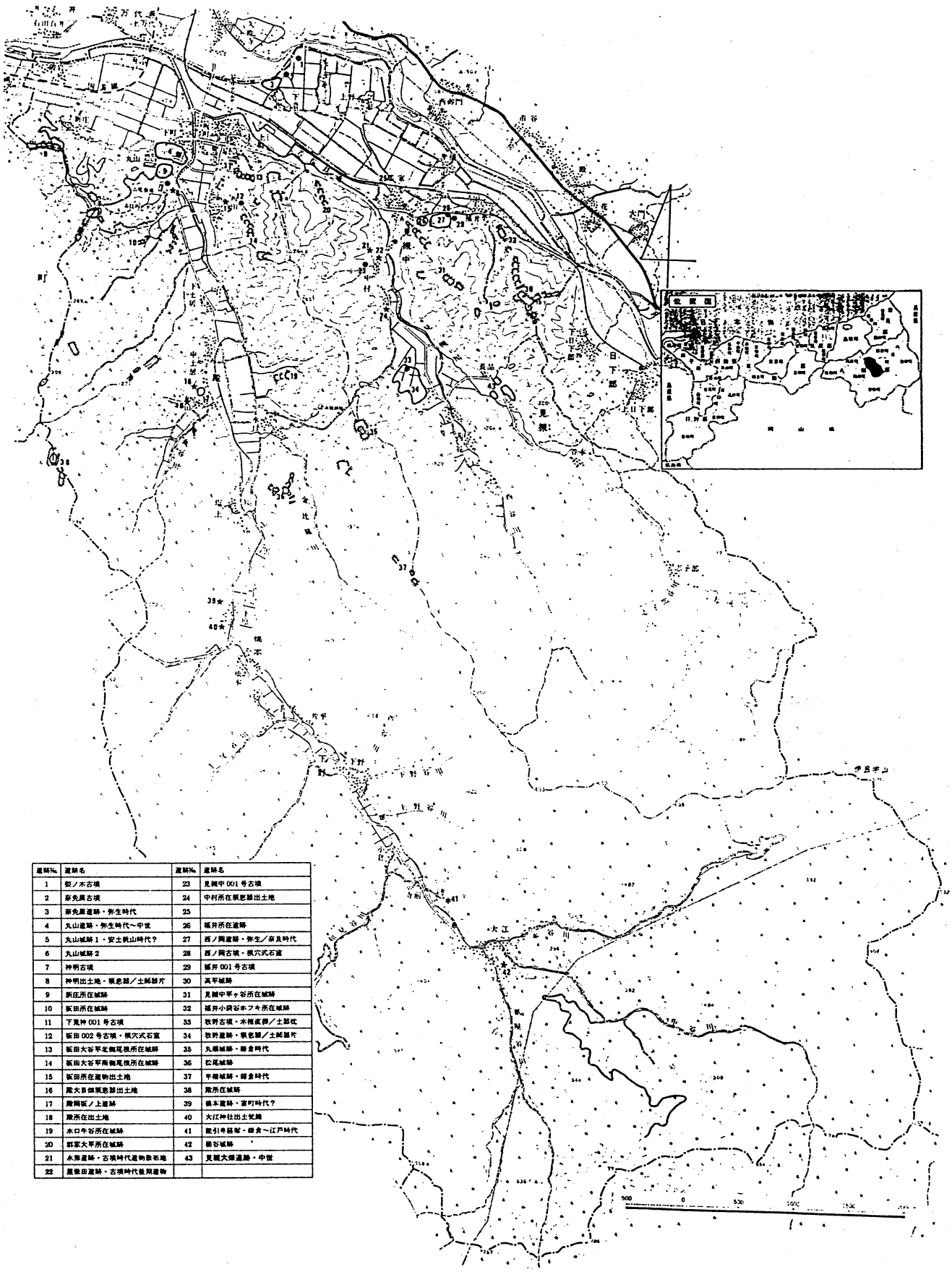
第Ⅰ章　調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
第Ⅱ章　出土遺物の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
第Ⅲ章　写真図版・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

挿　図　目　次

挿図―1　船岡町内遺跡分布図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
挿図―2　試掘トレンチ分布図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
挿図―3　第1トレンチ実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
挿図―4　第3トレンチ実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
挿図―5　第2トレンチ実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
挿図―6　第4トレンチ実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
挿図―7　第6トレンチ実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
挿図―8　第5トレンチ実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
挿図―9　第7トレンチ実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
挿図―10　第8トレンチ実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
挿図―11　トレンチ出土遺物実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・9
挿図―12　平木氏採集遺物実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

図　版　目　次

図版―1　第1・2トレンチ現地写真・・・・・・・・・・・・・・・・10
図版―2　第3・4トレンチ現地写真・・・・・・・・・・・・・・・・11
図版―3　第4・5・6トレンチ現地写真・・・・・・・・・・・・・・12
図版―4　第7・8トレンチ現地写真・・・・・・・・・・・・・・・・13
図版―5　第2トレンチ表採須恵器・第4トレンチ出土須恵器・・・14
図版―6　第4トレンチ出土弥生土器片及び土師器片・・・・・・・15
図版―7　第7トレンチ表採磁器及び平木氏採集中世遺物・他・・・16



遺跡No.	遺跡名	遺跡No.	遺跡名
1	狐ノ木古墳	23	見綱中 001 号古墳
2	奈免原古墳	24	中村所在須恵器出土地
3	奈免原遺跡・弥生時代	25	
4	丸山遺跡・弥生時代～中世	26	福井所在遺跡
5	丸山城跡 1・安土桃山時代？	27	西ノ岡遺跡・弥生／奈良時代
6	丸山城跡 2	28	西ノ岡古墳・横穴式石室
7	神明古墳	29	福井 001 号古墳
8	神明出土地・須恵器／土師器片	30	高平城跡
9	新庄所在城跡	31	見綱中平ヶ谷所在城跡
10	飯田所在城跡	32	福井小貫谷ホフキ所在城跡
11	下見神 001 号古墳	33	牧野古墳・木棺直葬／土師器
12	飯田 002 号古墳・横穴式石室	34	牧野遺跡・須恵器／土師器片
13	飯田大谷平北側尾根所在城跡	35	丸畑城跡・鎌倉時代
14	飯田大谷平南側尾根所在城跡	36	松尾城跡
15	飯田所在遺物出土地	37	平瀬城跡・鎌倉時代
16	陣大目畑須恵器出土地	38	陣所在城跡
17	陣岡飯ノ上遺跡	39	橋本遺跡・室町時代？
18	陣所在出土地	40	大江神社出土瓦塔
19	水口午谷所在城跡	41	能引寺経塚・鎌倉～江戸時代
20	郡家大平所在城跡	42	能谷城跡
21	水原遺跡・古墳時代遺物散布地	43	見綱大畑遺跡・中世
22	屋敷田遺跡・古墳時代後期遺物		

挿図－1　船岡町内遺跡分布図

第Ⅰ章　調査の概要

トレンチ規模 2m×10m を八本設定して、遺構･遺物の検出を試みた。一部のトレンチで遺構検出の可能性があり拡幅調査を実施したが、全体として顕著なものは検出されなかった。

以下、各トレンチについて簡単に記述する。

第１トレンチ

2m×10m のトレンチで深さ 80cm を調査したが、遺構･遺物ともに検出しない。

第２トレンチ

最初は 2m×10m のトレンチを設置したが、深さ 30cm 付近で中央部～北東部にかけて落込みを確認した。そこで、その性格を調査するためトレンチを北方へ 5m延長した。

その結果、弧状を呈する平面形で緩やかに落ちる自然地形と推定された。

表採遺物として、中世須恵器の小片を確認している。

第３トレンチ

2m×10m のトレンチを設置。深さ約 40ｃｍ前後で 5×8×12cm 大の石を４個検出した。この石の配列が柱間約 170cm 程度の平安期・南北棟を推定させ、石はその根石と思われた。そこで確認のため 150×130cm のトレンチを南方に設定したが、根石・掘り方・遺物ともに検出しなかった。

第４トレンチ

2m×10m のトレンチを設置。深さ 45 ～55cm で外面廉状叩き・内面青海波の須恵器甕片２点、土師器甕片２点、巨礫６点などを検出したが、遺構は確認されなかった。

また深さ 80cm で古墳時代後期の須恵器甕片２点を検出し、深さ 90～110cm で弥生時代後期と推定される平底型土器片１点と丹塗り土器片１点・他を検出した。

深さ 80～90cm で小規模ピットと思われる遺構を 2～3 基確認したが有機的配列をせず、その他には遺構は検出されなかった。

第５トレンチ

2m×10m のトレンチを設置。深さ 20～30cm で集積層に達し、その下位は旧河床礫層となる。

遺構･遺物とも出土しなかった。

第６トレンチ

2m×10m のトレンチを設置。深さ 25cm±で耕作土は無くなり、深さ 45cm±で旧河床礫層に達する。遺構･遺物とも検出されなかった。自然地形の落込みが北西部方向へ推定された。

第７トレンチ

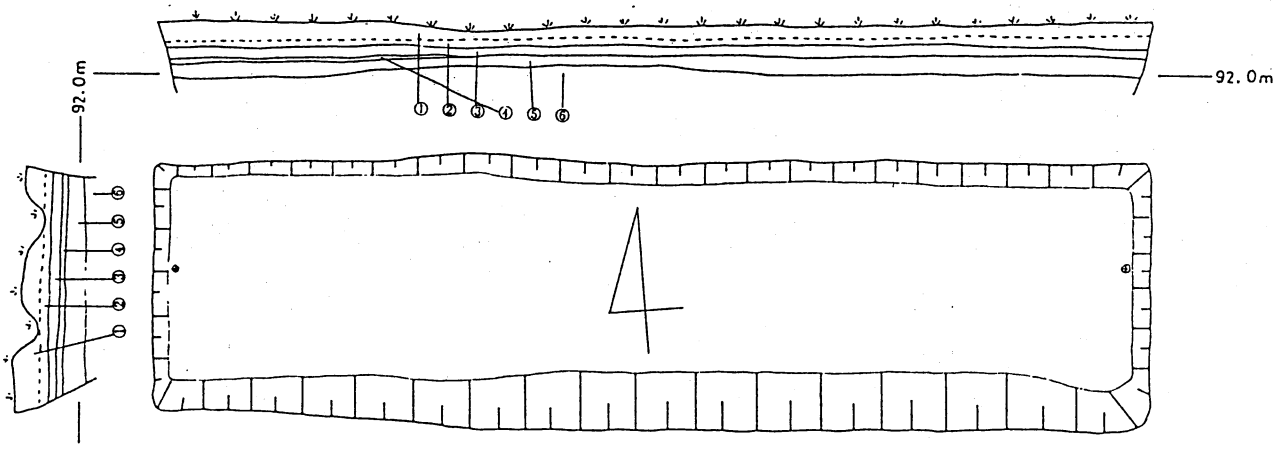
2m×10m のトレンチを設置。表採として中世遺物の磁器小片を確認した。層厚 20cm の耕作土を除くとローム質土層となり、遺構･遺物は検出されなかった。

第８トレンチ

2m×10m のトレンチを設置。第７トレンチと同様で、層厚 20cm の耕作土を除くとローム質土層となり、遺構･遺物は検出されなかった。

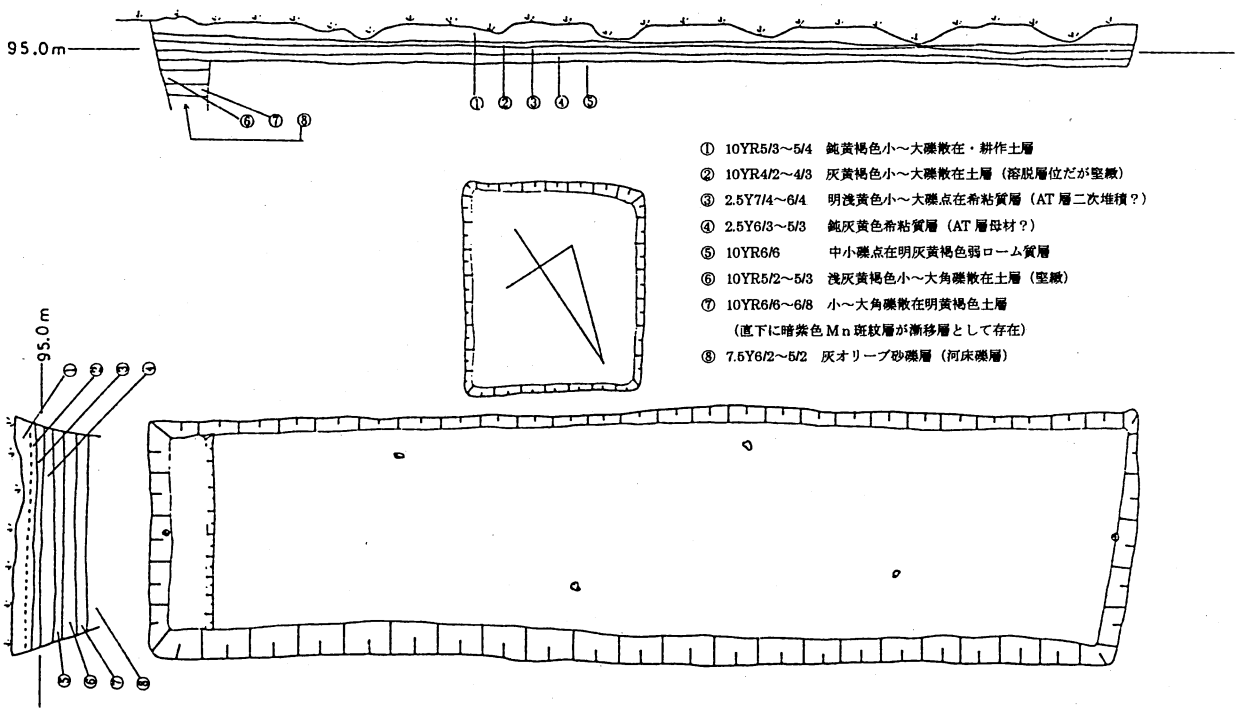
このトレンチの南東方向に埋積谷の中央が存在していると推定され、地表下 40cm で暗青灰色のグライ層に達し、その下位へ向い粘土化していく。

挿図－2　試掘トレンチ分布図



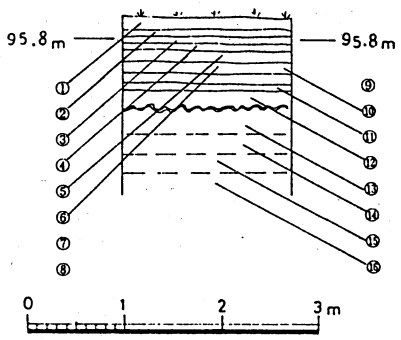
① 2.5Y5/3~4/3　小～大礫混在オリーブ黄褐色表土層（母材 AT）
② 2.5Y5/3　中小礫点在淡黄褐色微細粒土層（母材 AT）
③ 10YR7/8～6/8　小～大礫混在明黄褐色集積層
（ローム・パミス混入土層　Fe 斑紋層：黄褐色系斑紋）
④ 2.5Y5/4～5/6　小～中礫混在黄褐色砂質礫層
⑤ 2.5Y5/2～5/4　中～大・巨礫散在灰黄褐色層
（Mn・Fe 斑紋礫層：暗紫色系斑紋）
⑥ 2.5Y4/4　オリーブ褐色中小礫質層

挿図－3　第一トレンチ実測図

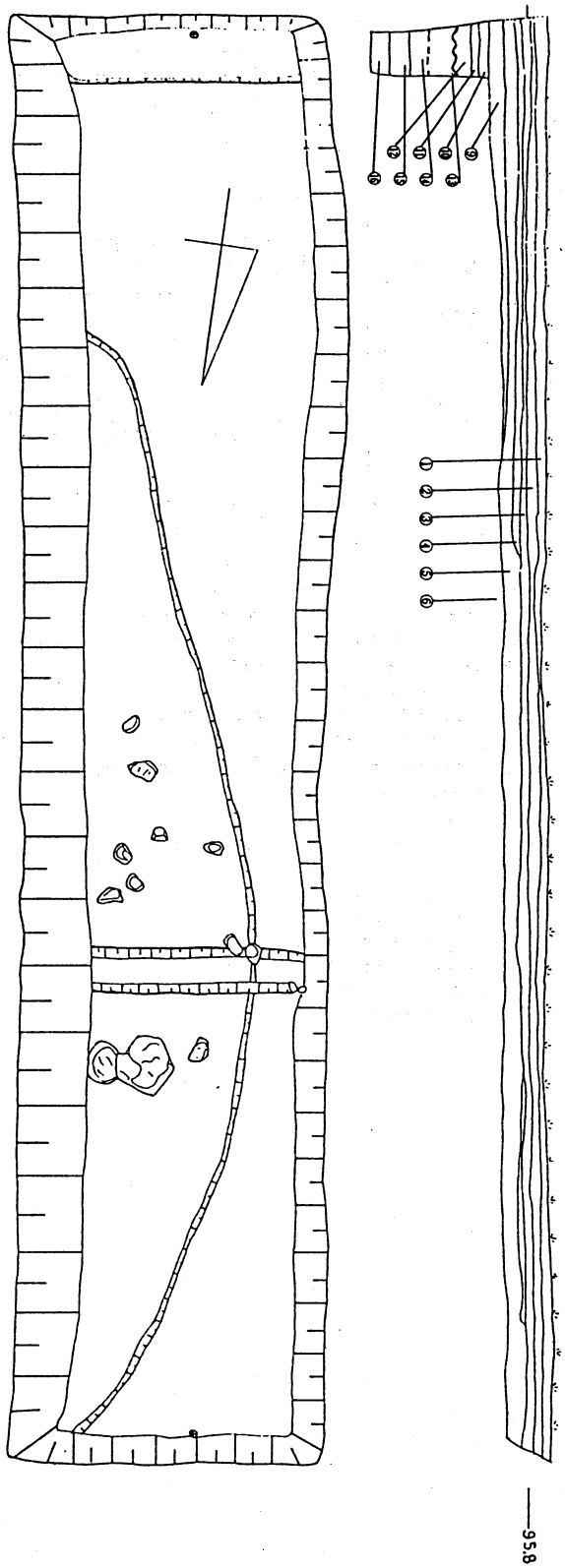


① 10YR5/3～5/4　鈍黄褐色小～大礫散在・耕作土層
② 10YR4/2～4/3　灰黄褐色小～大礫散在土層（溶脱層位だが堅緻）
③ 2.5Y7/4～6/4　明浅黄色小～大礫点在希粘質層（AT 層二次堆積？）
④ 2.5Y6/3～5/3　鈍灰黄色希粘質層（AT 層母材？）
⑤ 10YR6/6　中小礫点在明灰黄褐色弱ローム質層
⑥ 10YR5/2～5/3　浅灰黄褐色小～大角礫散在土層（堅緻）
⑦ 10YR6/6～6/8　小～大角礫散在明黄褐色土層
（直下に暗紫色Ｍｎ斑紋層が漸移層として存在）
⑧ 7.5Y6/2～5/2　灰オリーブ砂礫層（河床礫層）

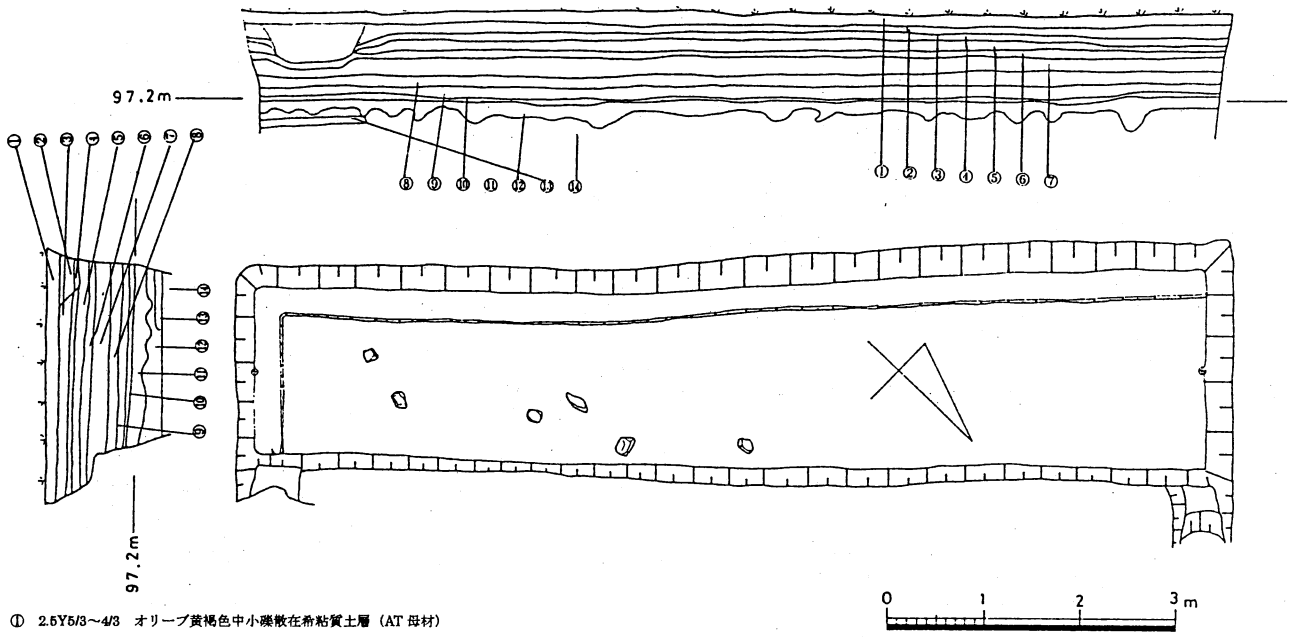
挿図－4　第三トレンチ実測図



① 5Y4/2～4/3　灰オリーブ中小礫散在表土層（耕作土）
② 5Y4/3　暗オリーブ中小礫点在土層（AT 母材）
③ 10YR5/4～5/6　黄褐色中小角礫散在ローム・パミス質土層
④ 5Y3/2　オリーブ黒色弱ローム混じり AT 質土層（Mn 斑紋）
⑤ 2.5Y3/2　暗オリーブ黒灰色中小角礫散在炭片混入土層
⑥ 10YR5/6～5/8　黄褐色ローム質中小礫点在土層（ローム二次堆積の可能性在り）
（上端部と下端部に Mn・Fe 斑紋層が波状混入する）
上部層（10YR6/4）　中部層（2.5Y6/4）　下部層（10YR6/6）
⑦ 10YR4/3～3/3　暗黄褐色大～中角礫質土層
⑧ 10YR5/4～5/6　オリーブ黄褐色砂層
（上部粗砂～下部細砂へと漸移する）
⑨ 2.5Y4/3　オリーブ褐色シルト質粘土層（層厚 40cm）
⑩ 2.5Y6/4～6/6　鈍黄褐色中小礫散在粗砂質層
（Mn・Fe 斑粒散在・⑦層に対比）
⑪ 10YR6/4～5/4　上・中部層（鈍黄褐色砂質層）　中位層下部に波状 Fe 斑紋層在り
2.5Y6/3～6/4　下部層（鈍オリーブ黄色砂質層）（下層へ向かって細砂質となる）
⑫ 10YR5/1　褐灰色小砂点在粘土層
（下位端部に波状 Fe・Mn 斑紋在り、波長 5～10cm・波高約 7cm）
⑬ 10YR4/4　暗褐色ローム層
⑭ 10YR4/6　褐色シルト混入細砂層
⑮ 10YR4/4～4/6　褐色細砂層
⑯ 10YR4/3　鈍黄褐色小～大角礫散在礫層（下位へ向い河床性を増す）



挿図－5　第二トレンチ実測図



① 2.5Y5/3～4/3 オリーブ黄褐色中小礫散在希粘質土層（AT 母材）

② 2.5Y5/2～4/2 暗灰黄色中小礫散在・大角礫点在希粘質土層（AT 母材・堅緻）

③ 7.5YR5/6～5/8 明褐色中小礫散在土層（パミス二次堆積？ 上部層に角礫を多量に含み、下部に向って小角礫となって粒径を減らし最下部には希粘質堅緻な砂層となる。）

④ 2.5Y6/6～5/6 明黄褐色中小礫散在大角礫点在希粘質土層
（近世集積層だが、その上位・下位の境界に斑紋土層を見ない）

⑤ 2.5Y5/3 オリーブ黄褐色小～大角礫散在希粘質土層（上層から下層へ礫が増加する）
（中世寒冷期に対比され、その程度は古墳寒冷期よりやや寒冷？）

⑥ 10YR5/6 明褐色小～大角礫散在集積層（下部に波長約 5cm・波高約 4cm 程度の暗褐色斑紋 Mn 層が挟在する）

⑦ 10YR4/2～4/3 小～大角礫散在灰黄褐色土層（本土層断面で最も暗色を呈し、中位で礫層の混入が大きくなる。上部が下部に比して腐食質思われ暗色度が大きい）
（奈良・平安時代相当層）

⑧ 上部層：10YR5/3～4/3 鈍黄褐色溶脱層（上位に薄い斑鉄層、下位に波長 6～10cm・波高 5cm 程度の斑鉄・赤褐色層が介在する）
下部層：10YR6/6～5/6 浅黄褐色集積層（下位に薄い斑鉄層。下部層中に径 3～4cm 角礫点在）

⑨ 2.5Y5/2～5/3 明灰黄褐色小～大角礫散在シルト質土層
（古墳寒冷期に対比される可能性が高い）

⑩ 10YR4/2 褐灰色小～大礫散在礫層（分級が悪い角礫）

⑪ 10YR4/3～4/4 鈍黄褐色小～大礫散在礫質層（上部層）
7.5YR4/3～4/4 中小礫散在褐色ローム質土層（下部層）
（上部層と下部層の境に波長 10cm・波高 8cm・層厚約 5cm 程度の Fe/Mn 斑紋沈積層が介在する）

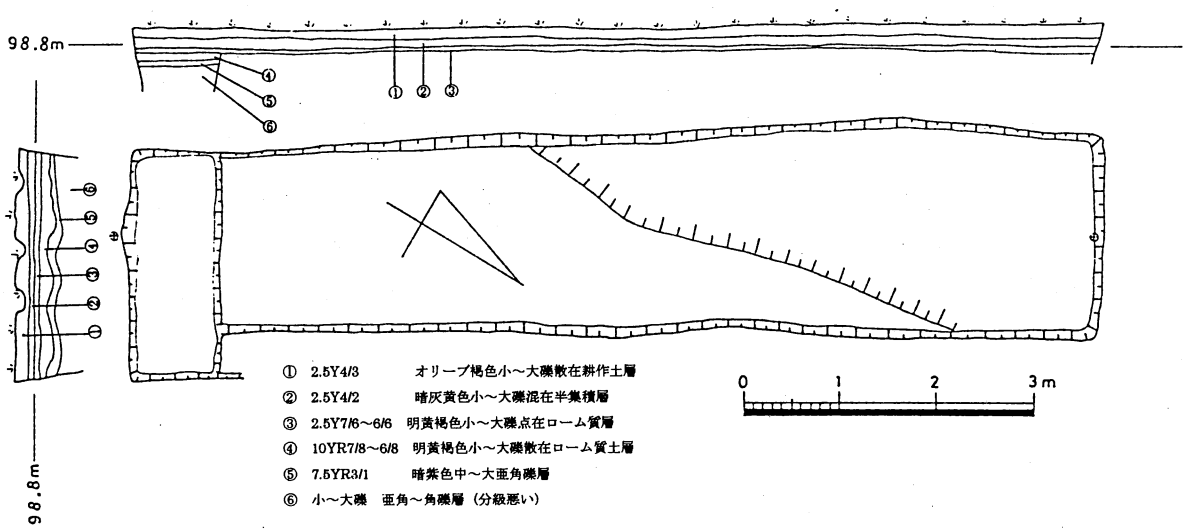
⑫ 10YR4/4～4/6 中小角礫散在浅黄褐色ローム質土層
（⑭層との境に層厚 1cm の波状 Mn 斑紋層介在）

⑬—1 10YR4/3～3/3 小～大角礫散在鈍浅褐色ローム質土層
（弥生時代後期に対比される可能性大）

⑬—2 10YR3/3 小～大角礫散在暗浅褐色ローム質土層（炭片点在）

⑭ 7.5YR5/6～4/6 中小角礫散在明浅褐色ローム質層（第二トレンチ基底礫層へと漸移？）

挿図－6 第四トレンチ実測図



① 2.5Y4/3 オリーブ褐色小～大礫散在耕作土層

② 2.5Y4/2 暗灰黄色小～大礫混在半集積層

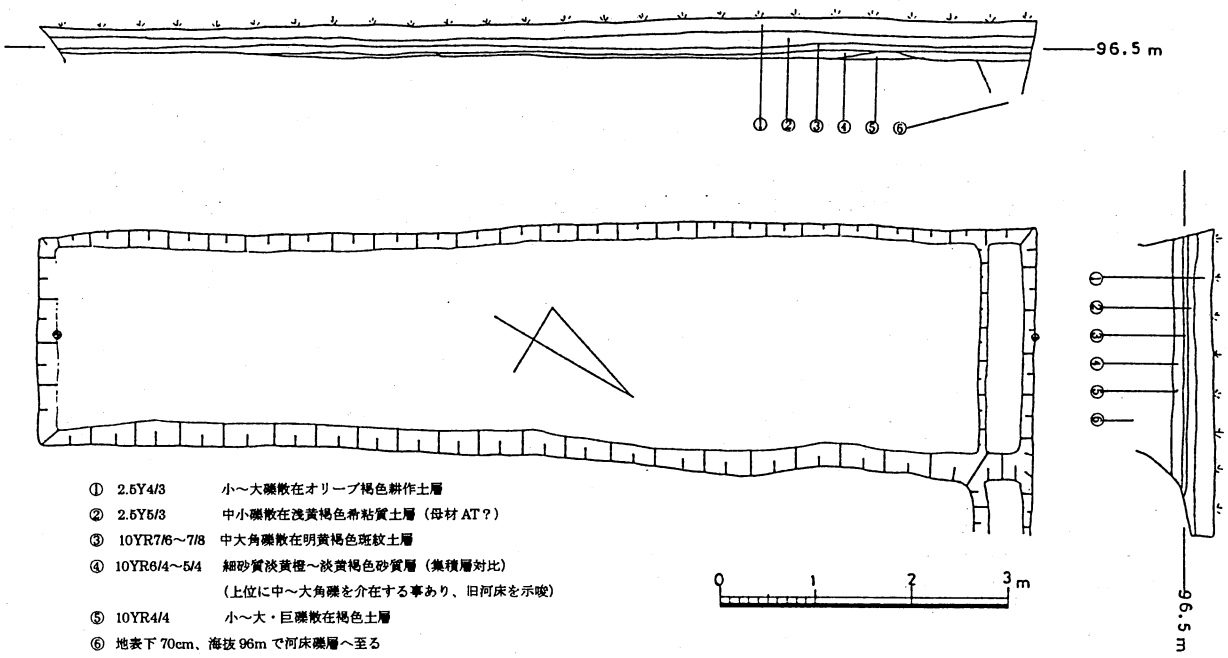
③ 2.5Y7/6～6/6 明黄褐色小～大礫点在ローム質層

④ 10YR7/8～6/8 明黄褐色小～大礫散在ローム質土層

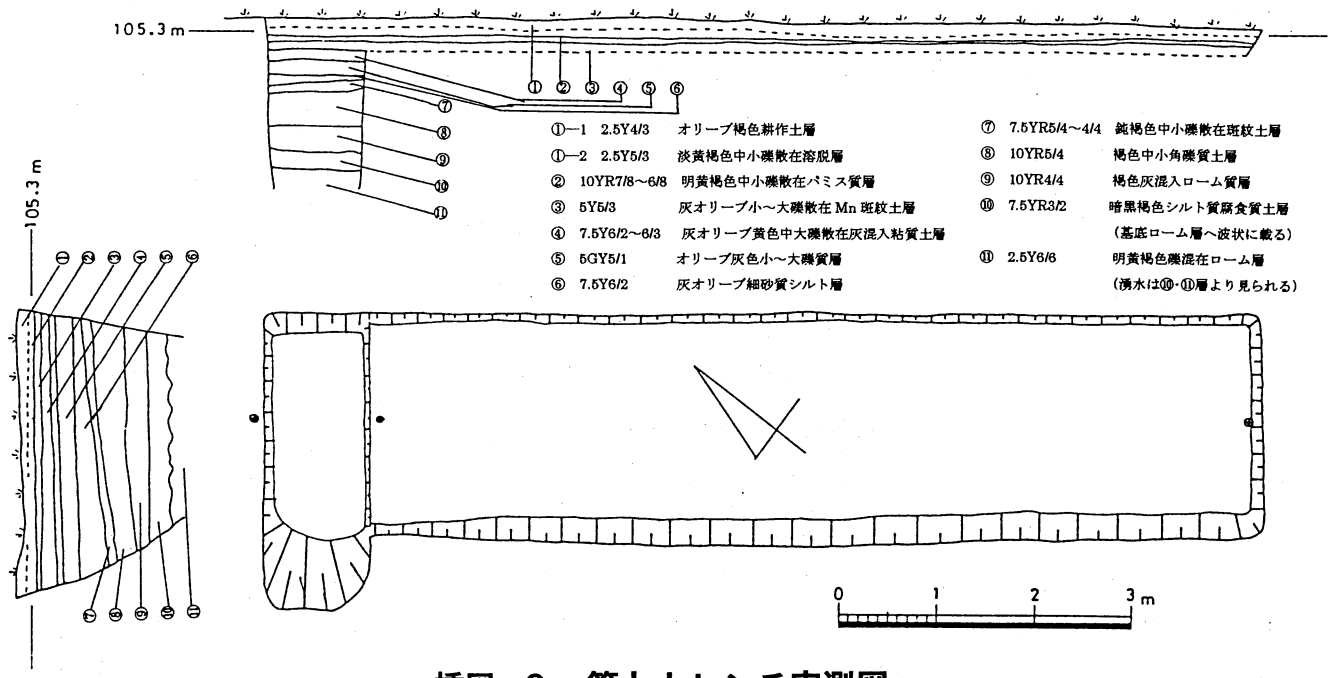
⑤ 7.5YR3/1 暗紫色中～大亜角礫層

⑥ 小～大礫 亜角～角礫層（分級悪い）

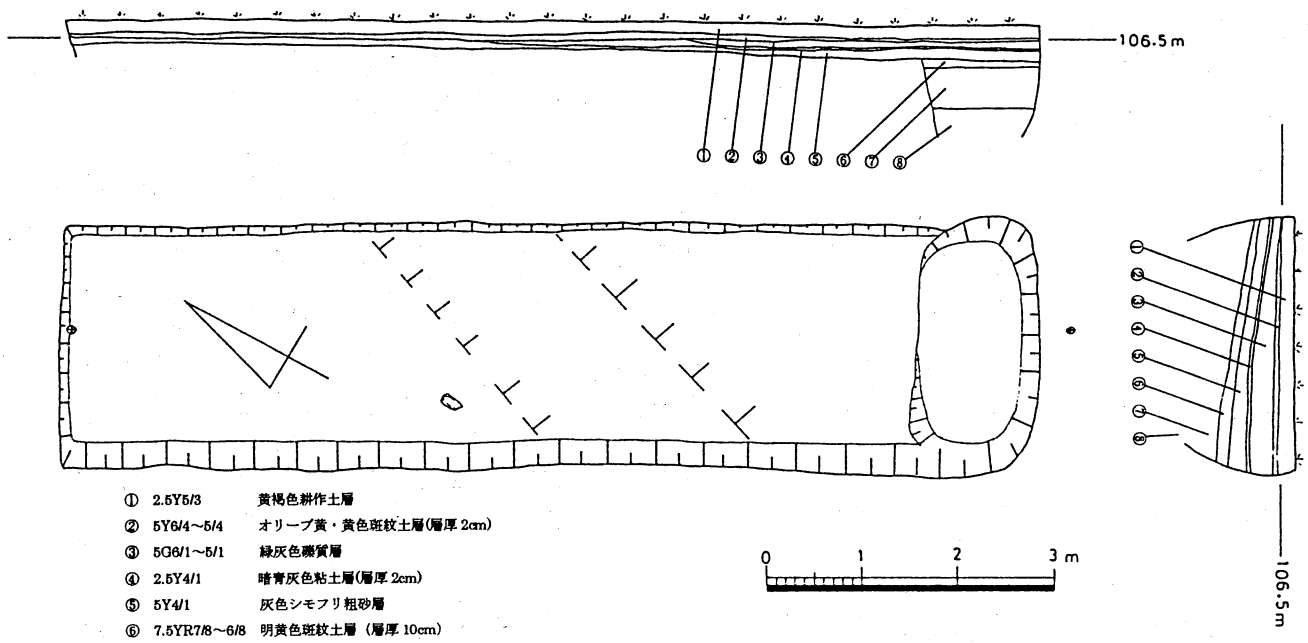
挿図－7 第六トレンチ実測図



挿図－8　第五トレンチ実測図



挿図－9　第七トレンチ実測図



① 2.5Y5/3　黄褐色耕作土層
② 5Y6/4～5/4　オリーブ黄・黄色斑紋土層(層厚 2cm)
③ 5G6/1～5/1　緑灰色礫質層
④ 2.5Y4/1　暗青灰色粘土層(層厚 2cm)
⑤ 5Y4/1　灰色シモフリ粗砂層
⑥ 7.5YR7/8～6/8　明黄色斑紋土層（層厚 10cm）
⑦ 2.5GY4/1～5GY4/1　暗オリーブ青灰色中小角礫散在礫質層（層厚 40cm）
⑧ 10HG4/1～5BG4/1　暗青灰砂礫層（下位へ向い粘土化）

挿図−10　第八トレンチ実測図

第Ⅱ章　　出土遺物の概要

トレンチ規模 2m×10m を八本設定して、遺構･遺物の検出を試みた。出土遺物が確認されたトレンチは第４トレンチが大半であり、その他に若干の表採遺物と平木氏採集遺物が数点あった。以下、実測可能な遺物について略述する。

Po１～７は、第４トレンチから出土したものである。Po.1 は白磁の小鉢或は碗類であり、深さ−55cm で検出した近世遺物である。Po２は深さ−45cm で出土した須恵器で中世の壺或は瓶類の底部である。Po３は口頸部が「くの字」を呈する甕又は鍋類であり、口縁端面は内傾し角張る中世遺物である。Po４は、Po３と同じく深さ−55cm で検出した土師器甕の口頸部で口端部はやや尖り気味で、内面口頸部にヨコハケ仕上げが見られる。Po５は深さ−80cm で出土の須恵器甕の口頸部である。外面肩部にカキメ調整後雑な廉状叩きが施され、内面肩部には青海波が残る。Po６・７は深さ−90～110cm で検出した弥生時代後期の物であり、Po６は壺又は甕類の平底型土器であり、Po７は高坏脚部である。

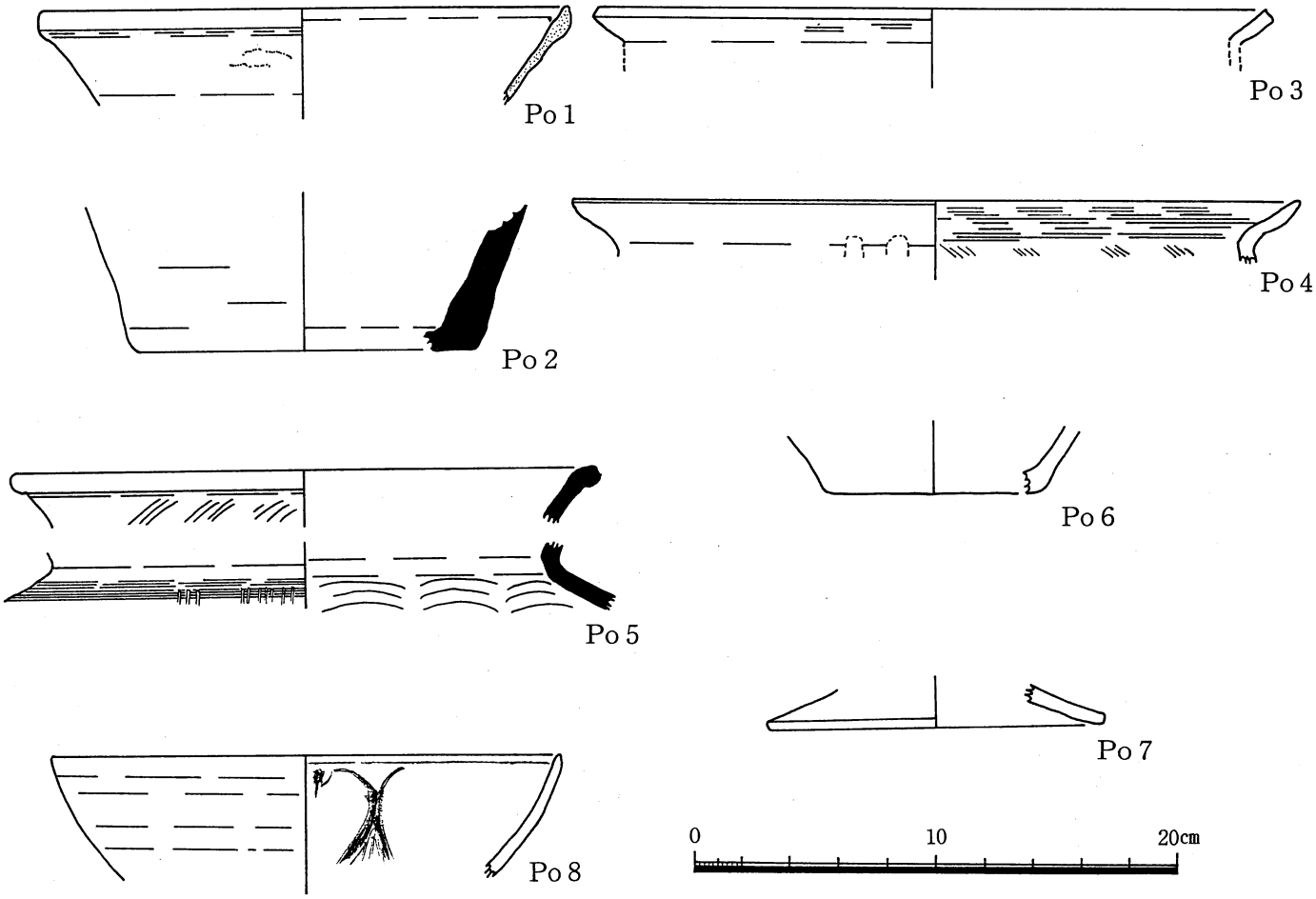
このトレンチの出土遺物は全体として層序毎に検出され、遺物の出土状況からみると⑤層が中世の寒冷期に対比され、⑦層が奈良・平安時代相当層、⑨層が古墳寒冷期に対比される可能性がある。そして⑬層が弥生時代後期に対比されるものと推定する。

また須恵器の甕類体部片として、外面廉状叩き後カキメ仕上げ・内面青海波叩き後弱ナデ調整の遺物も検出され、同種の遺物が第２トレンチからも表採されている。

Po８は、第７トレンチ表採遺物であり、復元口径 21cm の磁器碗である。外面は白磁様を呈しており内面に染付が認められる。

[挿図—12 について]

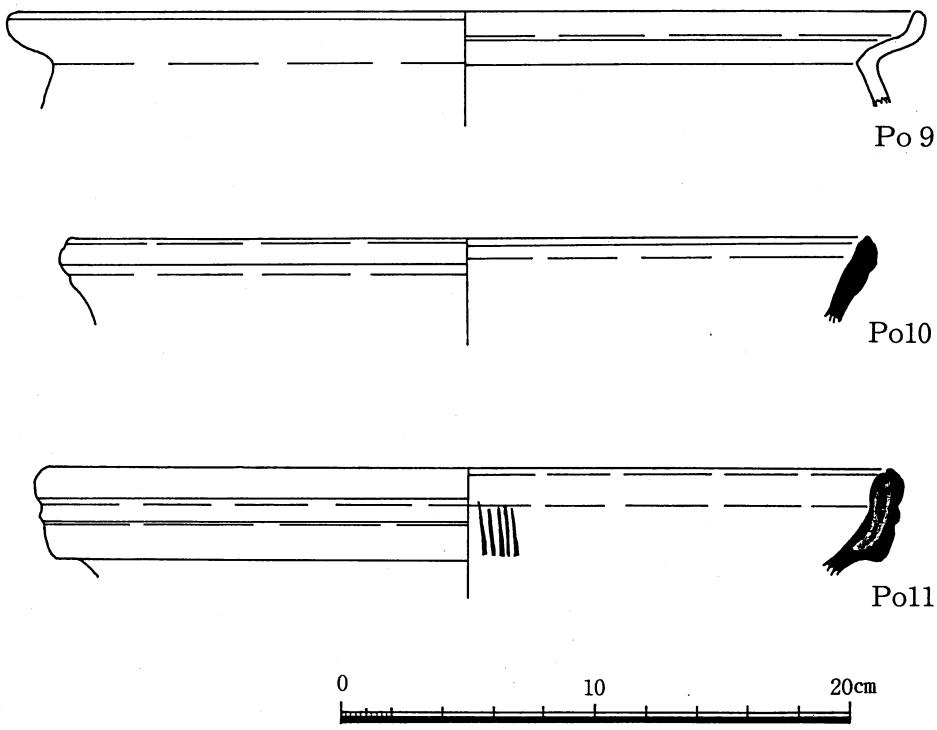
Po９～11 は調査の作業協力をして頂いた、平木卓美氏が採集された遺物である。20 点余の採集品の中から実測可能な遺物について報告して、この遺跡周辺の理解の一助となればと思います。



挿図−11　トレンチ出土遺物実測図

遺物採集地は、挿図２−試掘トレンチ分布図のＴ．６の地点から北東方へ約90mにある★印に位置し、今回のほ場整備事業からは圏外にある。

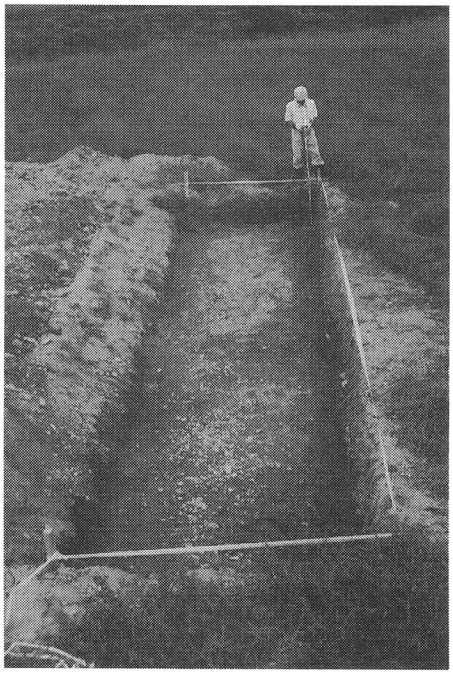
Po９は外面にスス付着の中世土鍋、Po10は中世の鉢類。そしてPo11は備前焼・擂鉢であり、内面の一部に５本歯の櫛目を認める。Po９は14世紀頃、Po10・11は17世紀初頭頃かと推定する。



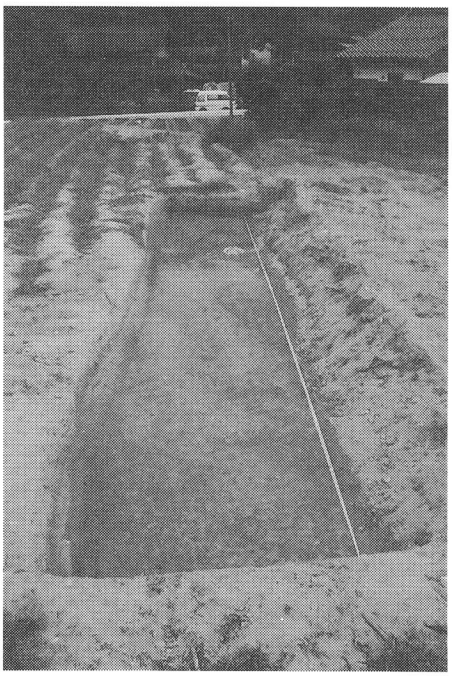
挿図−12　平木氏採集遺物実測図

図版 1

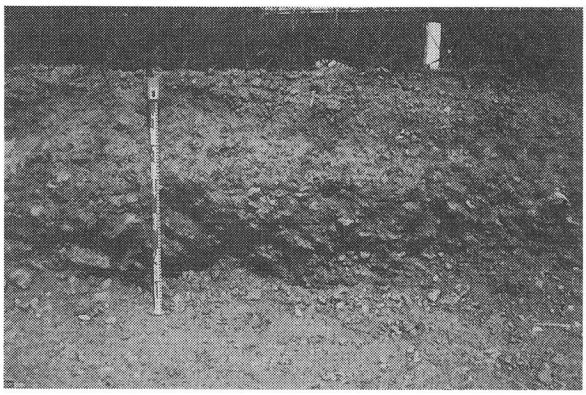
トレンチ設定（第二トレンチ）



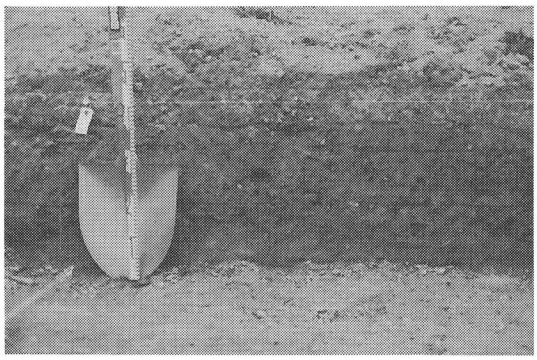
第一トレンチ全景（東方より）



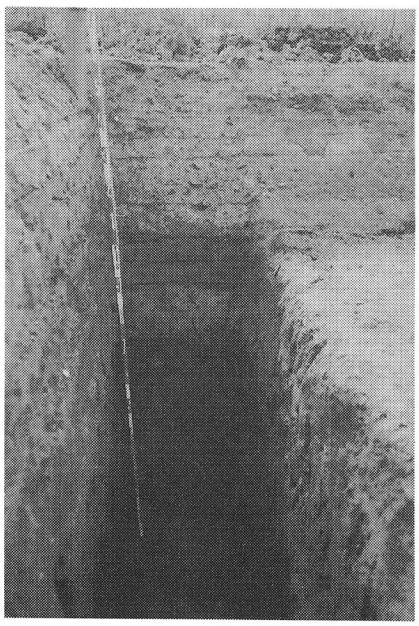
第二トレンチ全景（西方より）



第一トレンチ土層断面・部分〔西方より〕

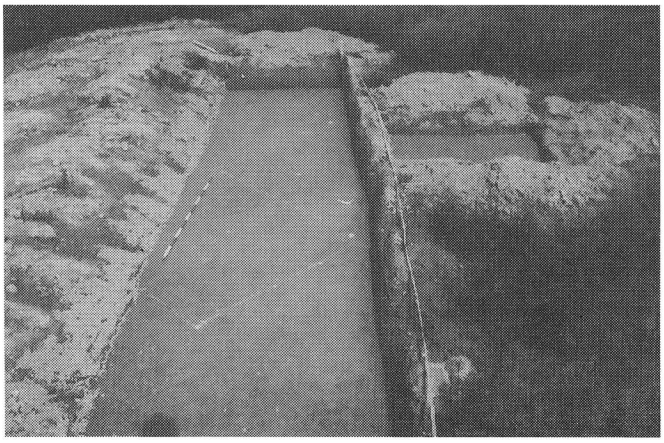


第二トレンチ部分土層断面〔東方より〕

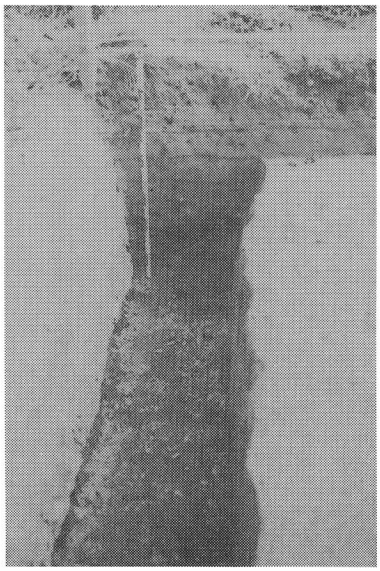


第二トレンチ西部土層断面（東方より）

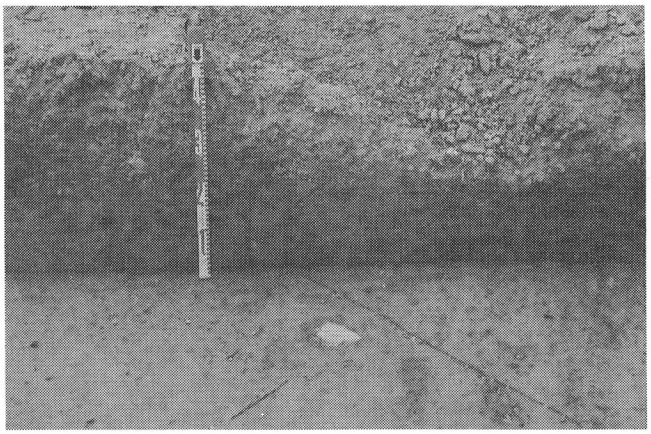
図版2



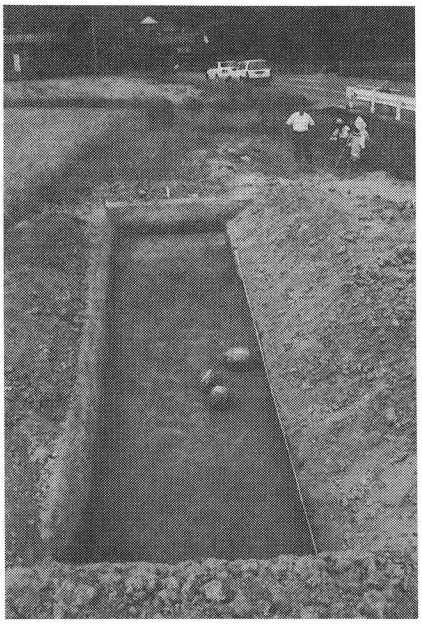
第三トレンチ全景（東方より）



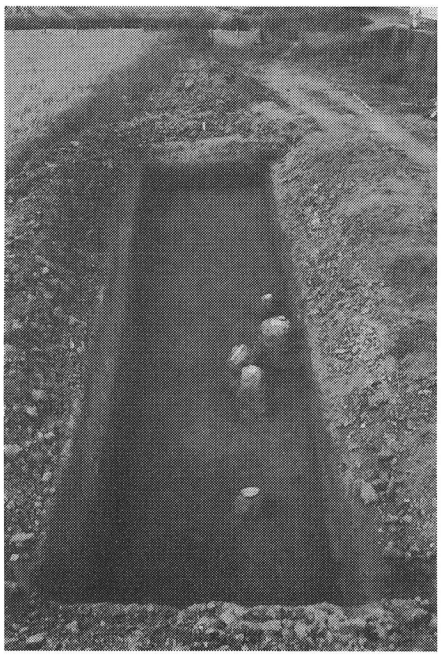
第三トレンチ南部土層断面（北方より）



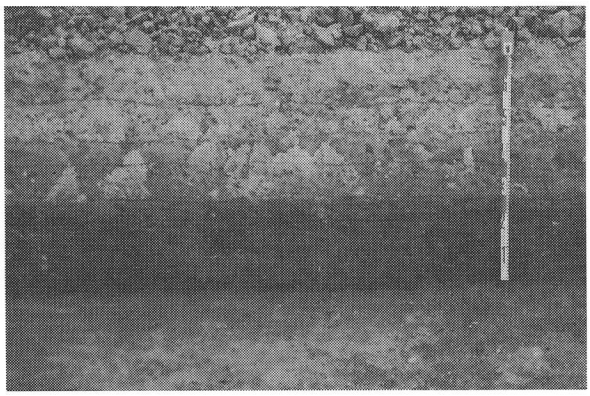
第三トレンチ根石？検出状況（北方より）



第四トレンチ全景（南方より）

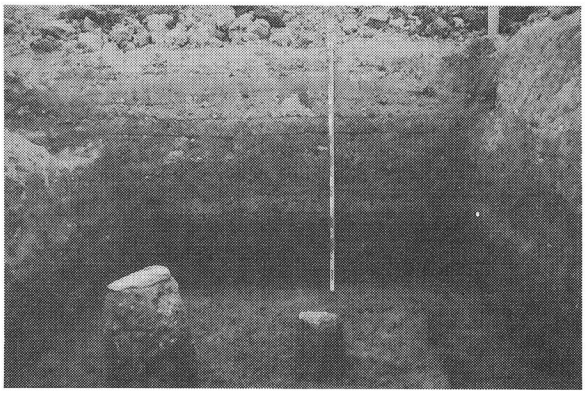


第四トレンチ全景・最終面（南方より）

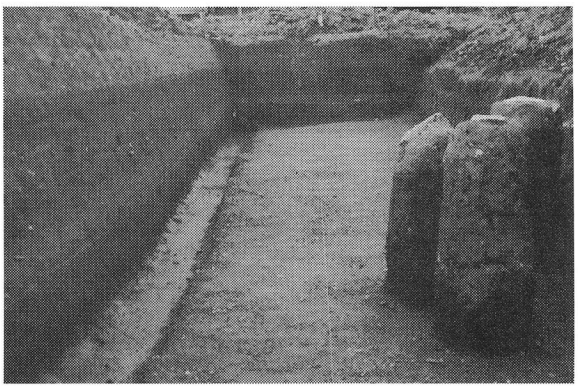


第四トレンチ土層断面・途中〔西方より〕

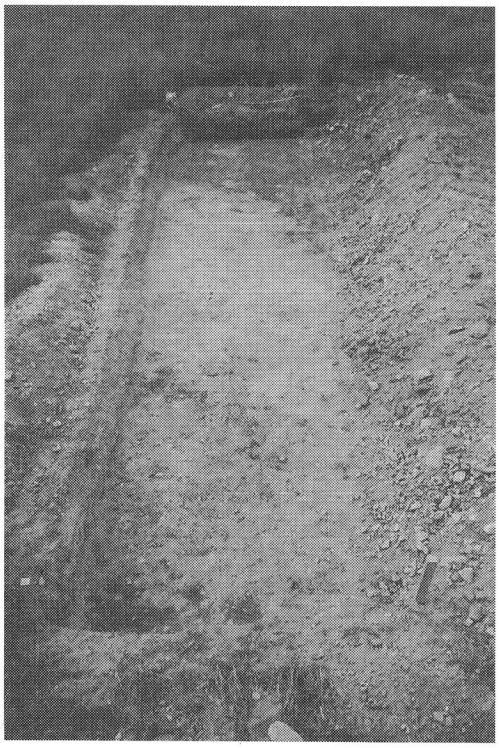
図版3



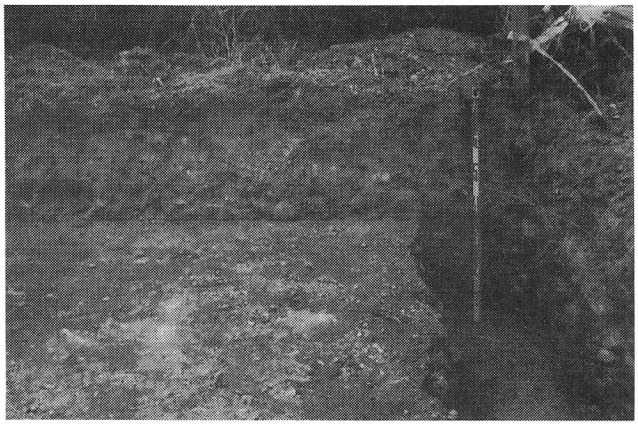
第四トレンチ南壁（北方より）



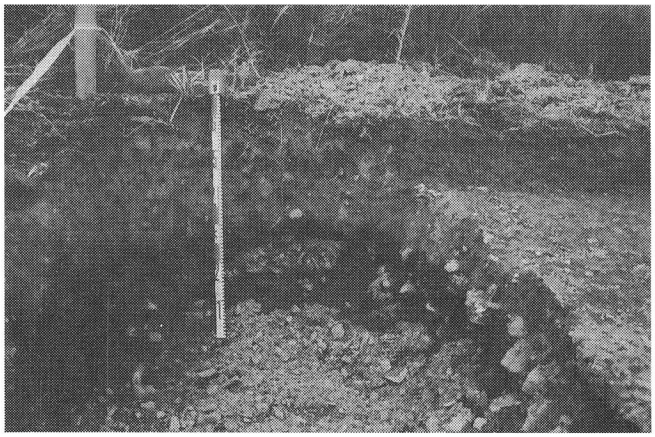
第四トレンチ土層断面（南方より）



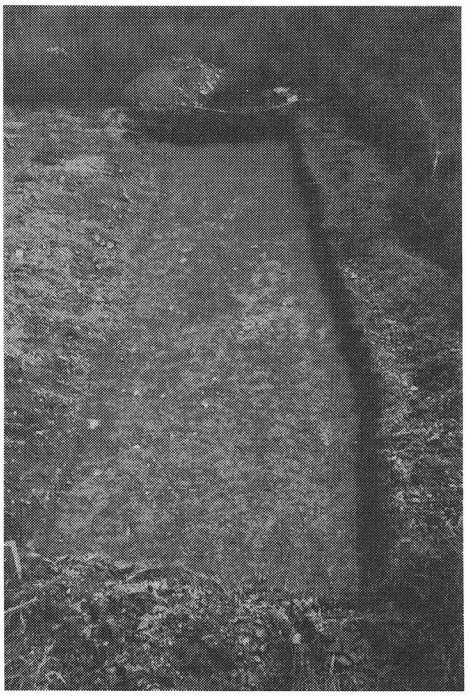
第五トレンチ全景（東方より）



第五トレンチ西部土層断面（北方より）



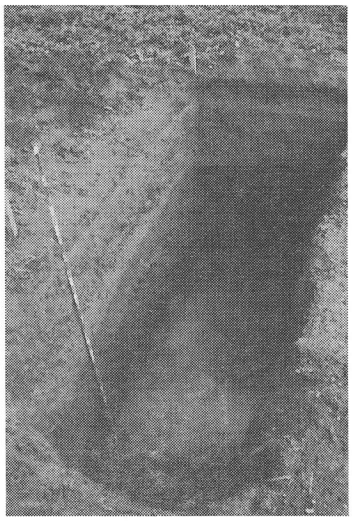
第六トレンチ南部土層断面（北方より）



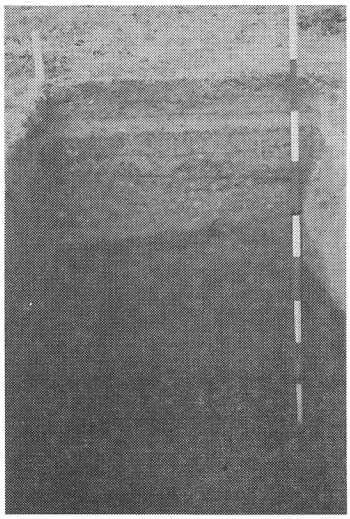
第六トレンチ全景〔西方より〕

図版4

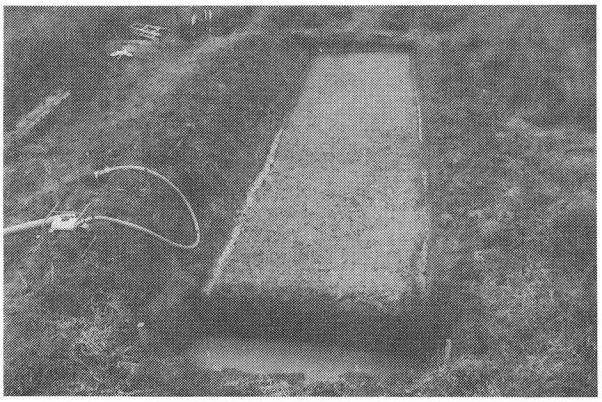
第七トレンチ全景（西方より）



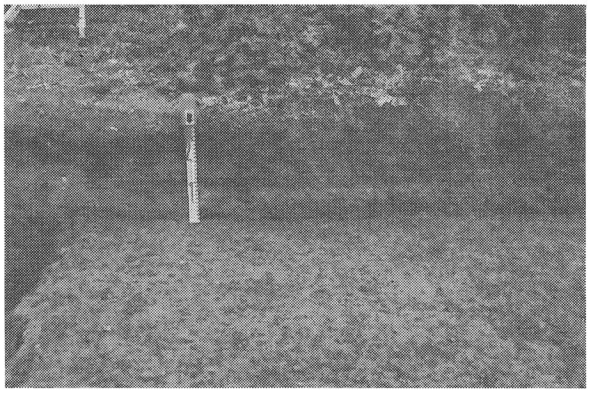
第七トレンチ東部深掘部（南方より）



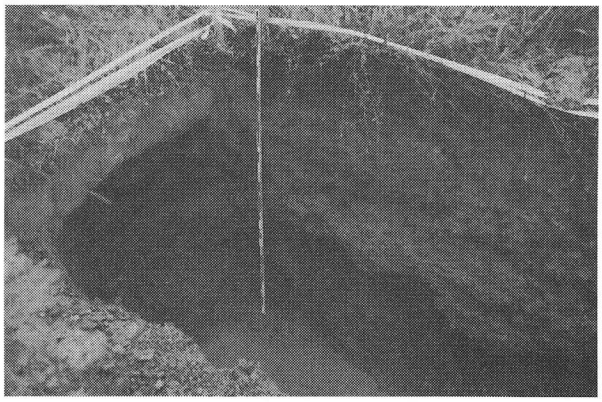
第七トレンチ東部深掘部（南方より）



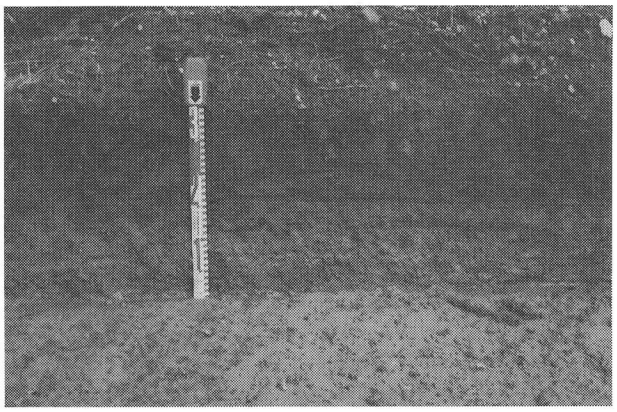
第八トレンチ全景（東方より）



第七トレンチ部分土層断面（南方より）

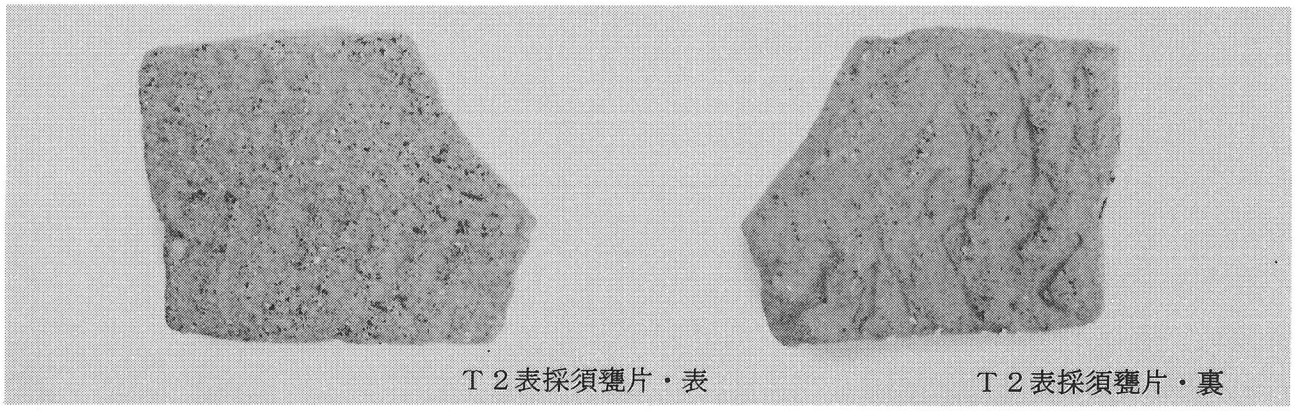


第八トレンチ東部土層断面（西方より）

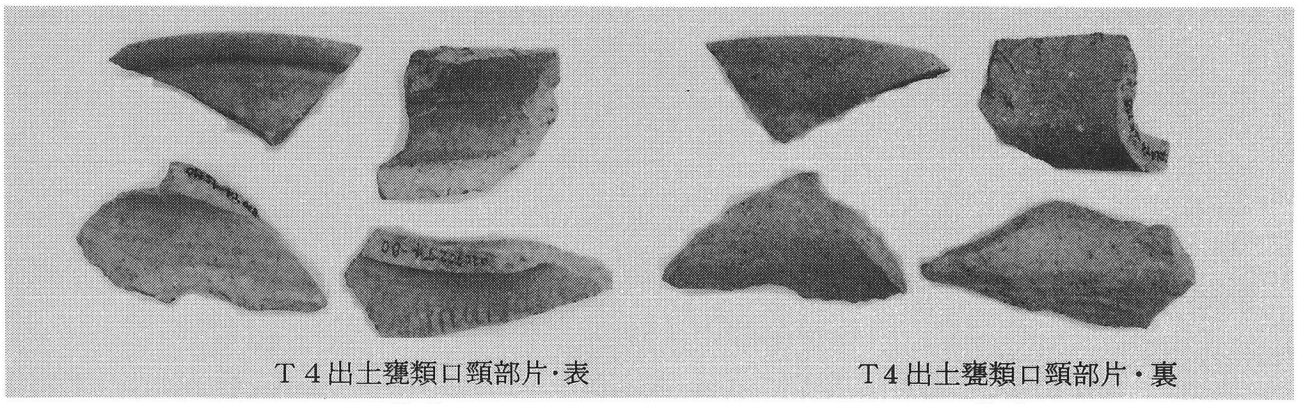


第八トレンチ北部土層断面（南方より）

図版5

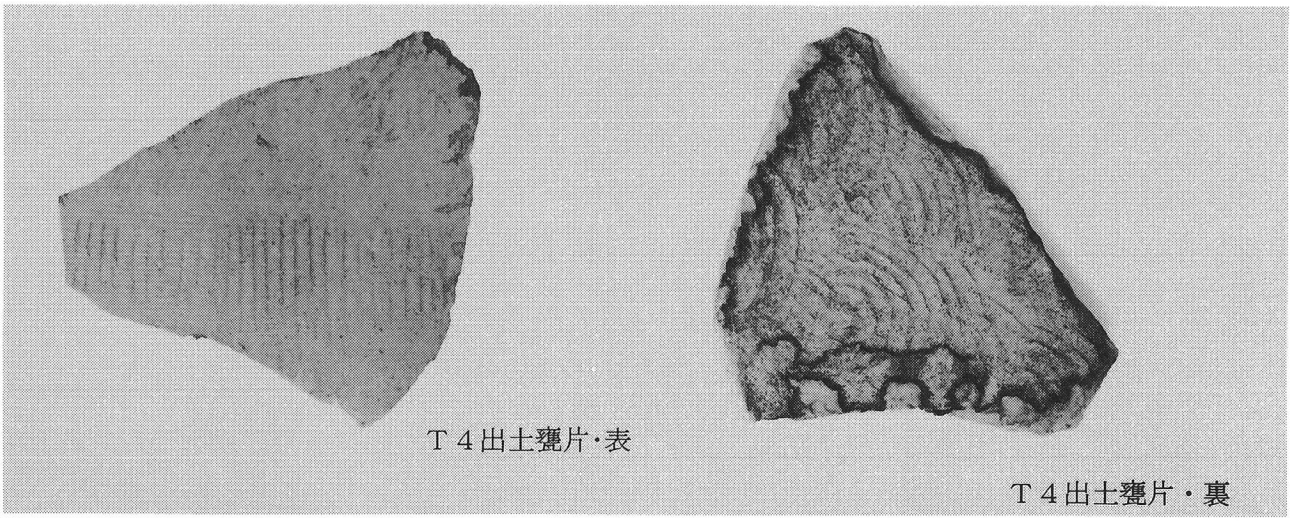


Ｔ２表採須甕片・表　　Ｔ２表採須甕片・裏

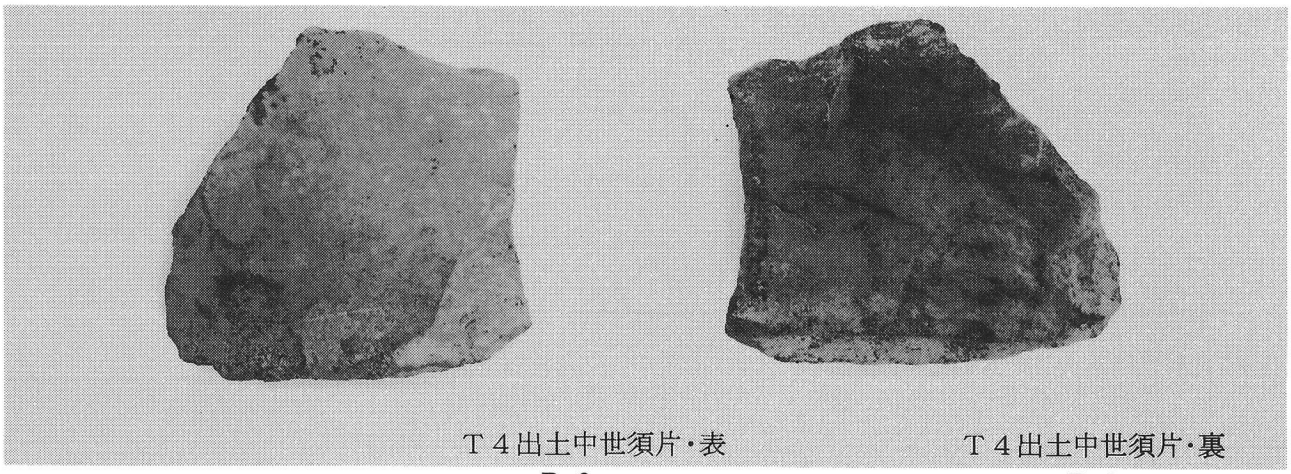


Ｔ４出土甕類口頸部片・表　　Ｔ４出土甕類口頸部片・裏

Po 5　　Po 5



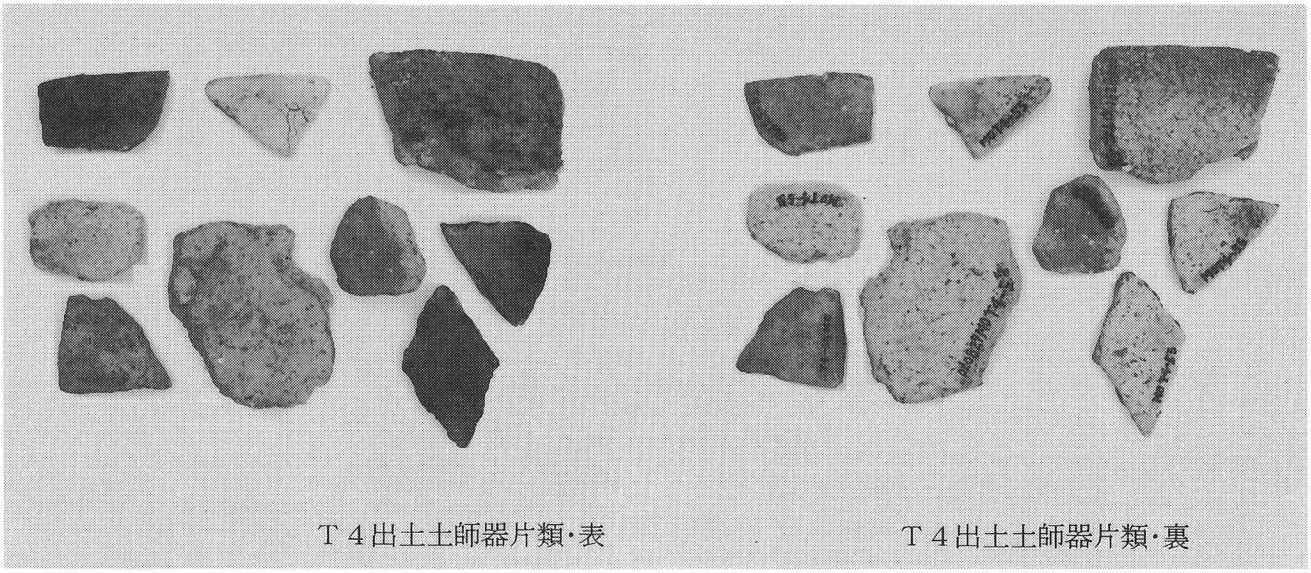
Ｔ４出土甕片・表　　Ｔ４出土甕片・裏



Ｔ４出土中世須片・表　　Ｔ４出土中世須片・裏

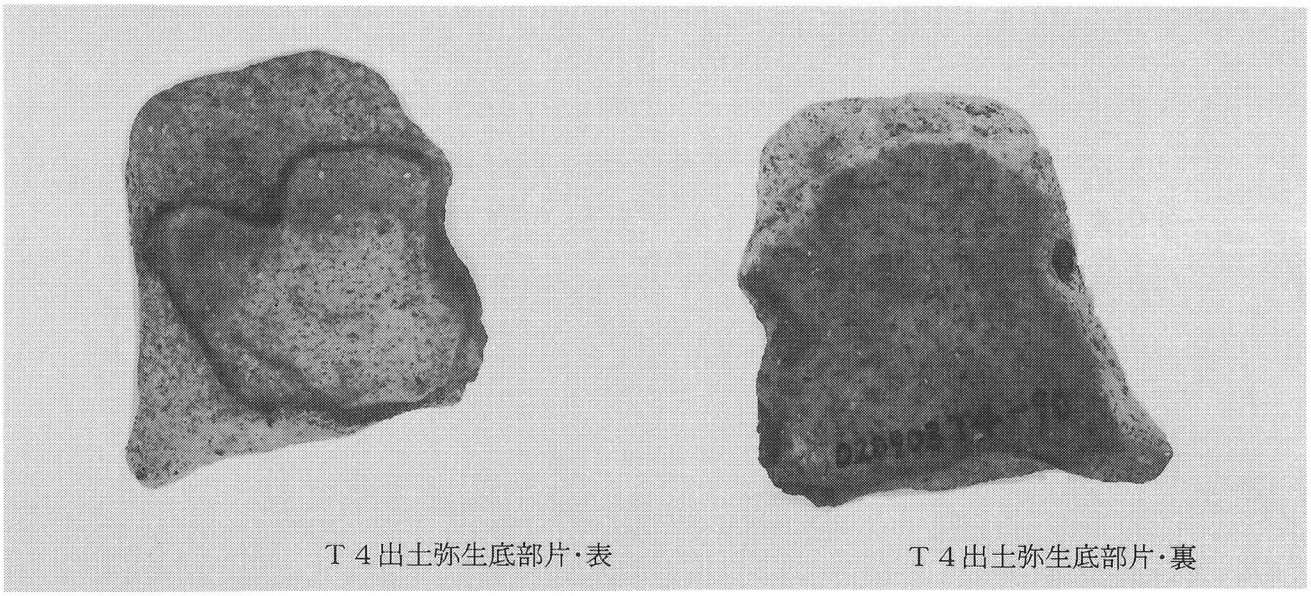
Po 2　　Po 2

図版6



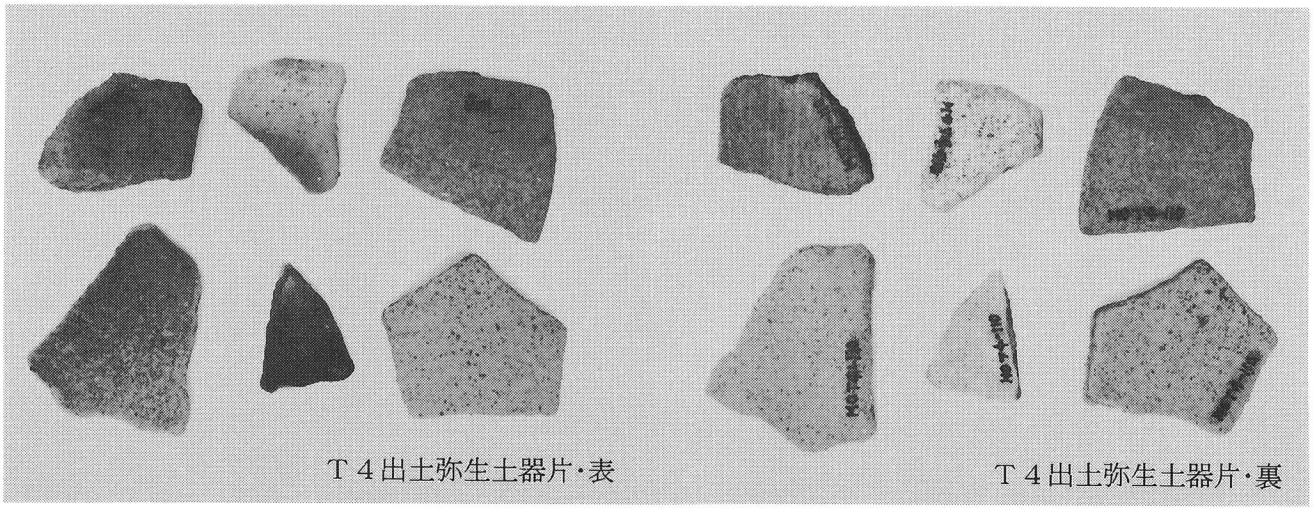
T４出土土師器片類・表　　T４出土土師器片類・裏

Po 4　　Po 4



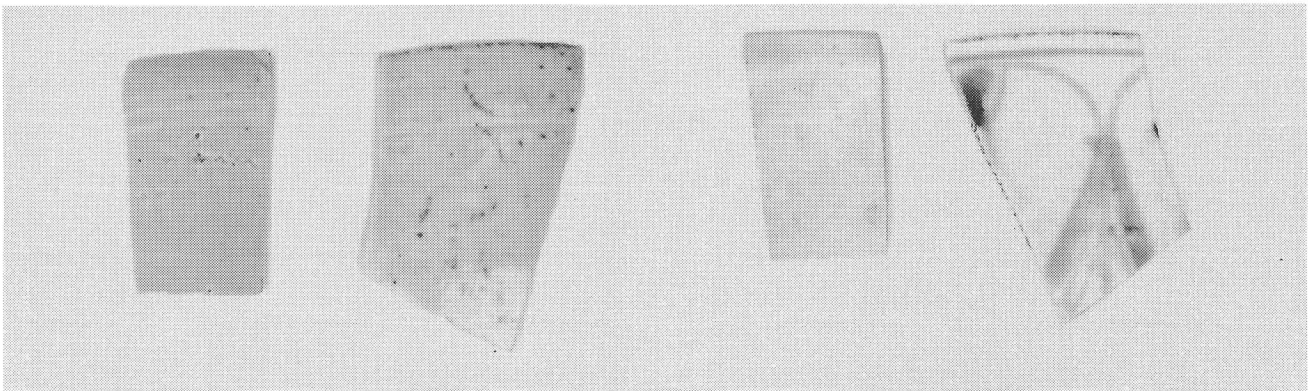
T４出土弥生底部片・表　　T４出土弥生底部片・裏

Po 6　　Po 6



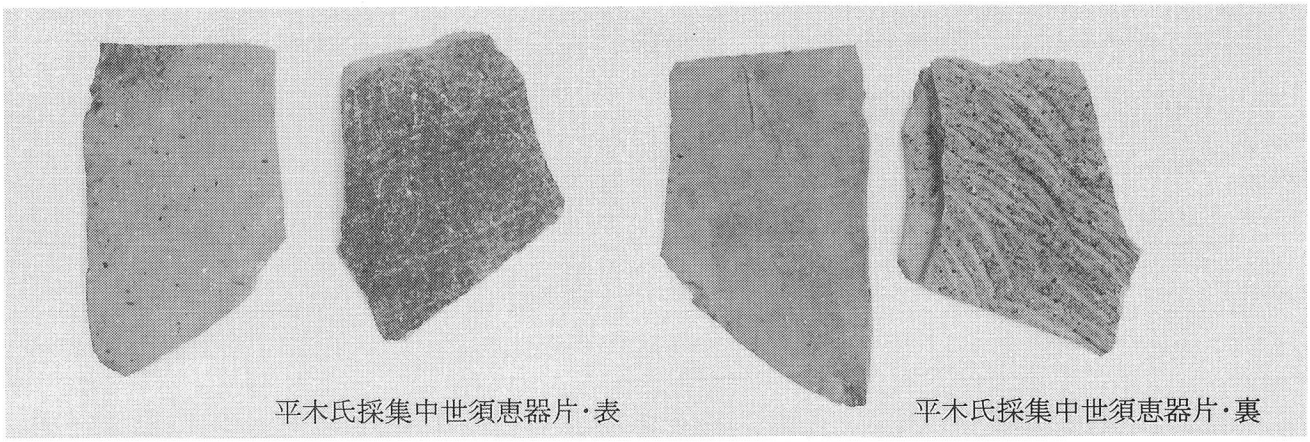
T４出土弥生土器片・表　　T４出土弥生土器片・裏

Po 7　　Po 7

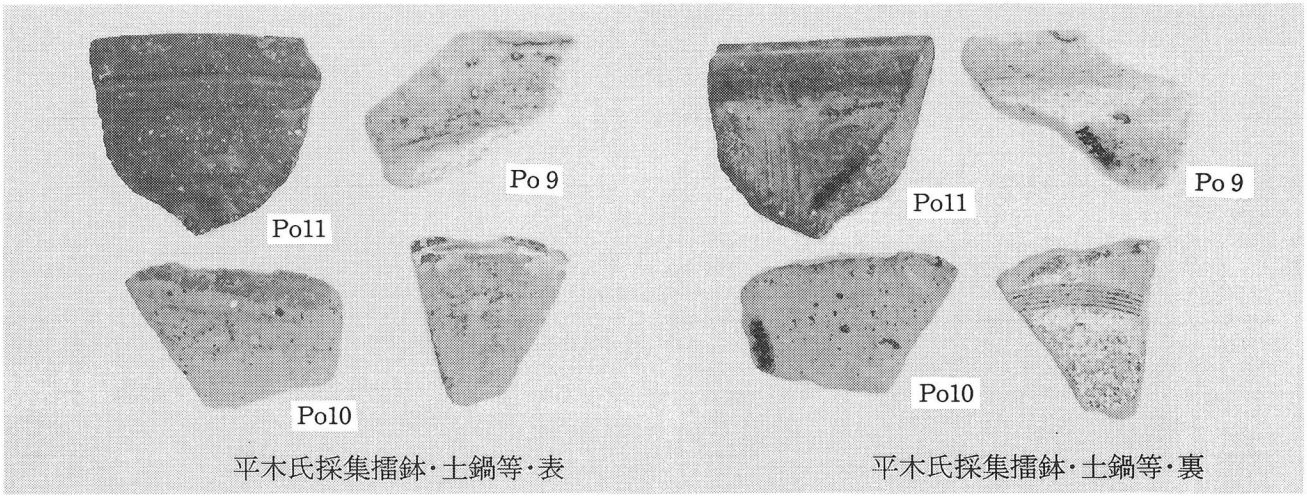


Ｔ４出土磁器片・表　Ｔ７表採磁器片・表　Ｔ４出土磁器片・裏　Ｔ７表採磁器片・裏

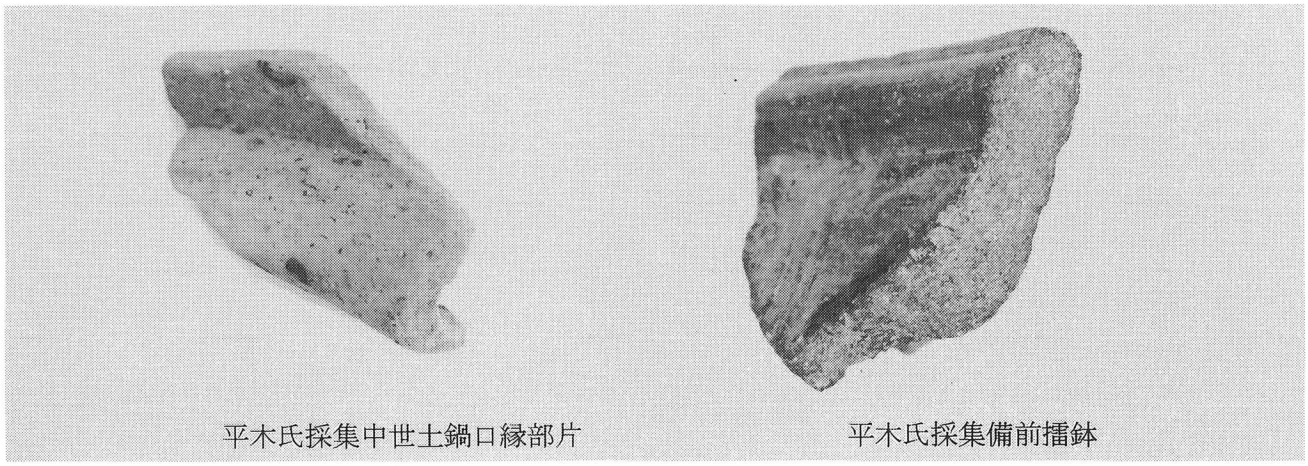
Po 1　Po 8　Po 1　Po 8



平木氏採集中世須恵器片・表　平木氏採集中世須恵器片・裏



平木氏採集擂鉢・土鍋等・表　平木氏採集擂鉢・土鍋等・裏



平木氏採集中世土鍋口縁部片　平木氏採集備前擂鉢

Po 9　Po11

鳥取県八頭郡船岡町
見槻大畑遺跡試掘調査報告書

発　行　２００３年３月
発行者　船　岡　町　教　育　委　員　会
〒680-0495 鳥取県八頭郡船岡町船岡539
TEL(0858)72－3976
印　刷　第　一　印　刷　有　限　会　社
〒680-0804 鳥取県鳥取市田島441
TEL(0857)22－0666